

やまゆり ニュース

vol.46

2025
6

麻生市民交流館やまゆり



わがサポセンの新年度は4月に始まりましたが、5月下旬の通常総会が終わるまで毎年のことながらドタバタ感が拭えません。

カレンダーは待ってくれず、新年度になればたちまち区民講師公開講座は始まり、市民活動団体助成金事業の前年度報告会も新年度審査会も開かれます。頭の中には前年度決算から通常総会へとつながる前年度の総仕上げと新年度事業とが混在して、どこか落ち着かない日々が続くものなのです。

そうした日々のふとした安らぎの時間に聴きたくするのがモーツァルトです。友人が、「春はフォーレだよ」とささやくのですが、私は断然モーツァルトです。

音楽に季節感が込められているのか疑問もありますが、吹く風にも暖かさが感じられるようになるころから梅雨の前くらいまでの、一年で最も華やかな時期、花と新緑のうたげには、やはりモーツァルトが一番、と思ってしまいます。

撮りためている花の写真を見ながら自己流の選別をしつつ、ピアノ協奏曲第26番に耳を傾け、ちびちびするウ

イスキーのうまいことといったらありません。

コロナ禍の期間、時間を持て余したわりにはこうした至福のひとつきを味わった記憶がありません。やはり多少は過ぎゆく時間にも緩急濃淡が必要なようです。

と言いつつ再び現実に立ち戻り、通常総会も終えてわれらがサポセンの事業に本腰を入れられる季節到来となりました。皆様の志に支えられるサポセンの新たな一年に、今年もどうぞご期待いただきたく思います。

認定NPO法人あさお市民活動サポートセンター
理事長 中山正夫



中山正夫理事長 今号の撮影写真



今年も

すず

ちょこ涼 始めます

川崎市では6月16日(月)より9月30日(火)まで熱中症予防促進のため、外出時に体調に異変を感じる前に一時的に立ち寄り、涼める場所を「市民が一時的に暑さをしのぐ場所(かわさきちょこ涼)」として市内各施設で供用を実施します。麻生市民交流館やまゆりも、『ちょこ涼』に参加するので、熱中症予防のために気軽に利用してください。



麻生市民交流館やまゆり 稼働状況の推移

年度	会議室利用回数		利用者数	利用登録
	平日(夜間)	土日祝	(人数)	(団体数)
令和6	823(303)	419	15,452	764
令和5	801(230)	456	14,087	729
令和4	763(201)	415	12,086	707
令和3	629(104)	334	8,132	707
⋮				
平成20	874(118)	149	16,821	421

やまゆりニュース vol.46 目次

2
面

安全・安心

自分に合った健康長寿の秘訣を探そう!



知っていますか?

大好評の「麻生の歴史遺産を巡る企画」

3
面

Amusement

除伐、下刈り、間伐、枝打ちなど～かながわ森林づくり活動



お役立ち情報

"やすらぎの森"見守り隊

4
面

令和7年度「地域コミュニティ活動支援事業」



自分に合った健康長寿の秘訣を探そう！



会場の白山老人いこいの家(1F)と、こども文化センター(2F)(取材当日:2025年3月23日)

3月23日、白山老人いこいの家と、こども文化センターで健康フェスin白山が初めて開かれた。開催のきっかけは昨年3月の市長との車座集会。そのとき参加した白山地区の自治会関係者が協力した他、地元の企業も協力した。麻生区は男女とも長寿日本一になったが、さ

らに健康長寿日本一を目指しての催し。気温24℃の好天にも恵まれ200人ほどが来場し大盛況だった。

会場は測る、遊ぶ、運動する、知る・なごむ、分かるの5つの部屋。来訪者は顔見知りが多く交流を楽しみながら適宜5部屋を回り、健康チェック(骨密度、血管年齢など)、健康麻雀(4卓準備)、ピククルボール(ラケットスポーツ)、介護保険・おなか元気教室、歩き方改善の5つを体験した。記者も初めて骨密度を測ったが、実年齢より20歳ほど若く安心した。

地元自治会連合会が、ふれあい喫茶でコーヒー、プリン、ヨーグルトをサービスし、一服できて喜ばれ

た。アンケートに答えると納豆などのお土産も出た。

主催者の区役所地区見守り支援センター、地元民生委員児童委員、協力の地元自治会連合会によると、盛況だったため2回目を開きたいとのこと。また、主旨に賛同し開催の意欲がある地区は区役所(Tel.044-965-5234)に相談することをお勧めする。



骨密度チェックに並ぶ住民(どの部屋も行列していた)



大好評の「麻生の歴史遺産を巡る企画」

長寿日本一の麻生区。ここでは現役時代の活躍を経て、退職後は興味のある分野を楽しんでいる人が多い。特に現役時代は忙しくて顧みることができなかった「第2のふるさと麻生」を知りたいという人は多く、麻生歴史観光ガイドの会が開催している「麻生の歴史遺産を巡る企画」は大好評。参加者は毎回抽選となっている。先日開催した、古街道研究家宮田太郎氏の講演会「麻生の歴史の道口マン」には100名を超える参加者があり、この講演会をぜひシリーズで開催してほしいとの希望が殺到した。このため今年はいつものコースに加え、講演会と実際の鎌倉古道を歩く会を実施することになった。

講演会

麻生の道口マンよもやま話 ～多摩丘陵の源義経伝説と鎌倉街道の謎

講師：古街道研究家・宮田太郎氏
(歴史古街道団代表など)
NHKテレビやラジオでも歴史解説

日時：8月1日(金)14時～16時(開場13時半)

会場：新百合ヶ丘21ホール・地下2階多目的ホール

申込締切：7月25日・先着200名 参加費500円(当日受付にて)

*申込先：麻生観光協会のホームページ(<https://www.k-kankou.jp/>)

電話での問い合わせ：麻生区役所地域振興課 Tel:044-965-5113



2025年2月宮田先生講演会の様子

ウォーク

古代・鎌倉街道を歩く(別途申込み)

散策予定日：11月14日(金)



2025年3月麻生観光歴史ガイドの会
早野コース散策の様子



除伐、下刈り、間伐、枝打ちなど～かながわ森林づくり活動

「県民参加の森林づくり」という活動が、神奈川県内で行われている。事業主体は、公益財団法人かながわトラストみどり財団。

森林づくりのための主な作業は、春と秋に「植栽」（苗木を植える作業）、夏に「下刈り」（苗木が周りの雑草に負けない大きさに育つまで、周りの雑草などを刈り取る作業）、秋～冬に「枝打ち」（節のない木材を作り、林内に光を入れるために枝を切り落とす作業）と、「間伐」（林内に光を入れるため成長の悪い木を切る作業）がある。また、目的木以外の侵入木などを伐る「除伐」という作業もある。

その活動場所は、傾斜や移動距離、

季節、作業内容などを「★」の数で表し、★1つは「初めての森林整備」、★2つは「快汗やましごと」、★3つは「大汗がっつり山作業」と、作業難易度を設定し、選ぶ基準を示している。

今年度は、4月16日を第1回とし、来年の2月14日まで20回、茅ヶ崎市、秦野市、小田原市、相模原市、山北町、南足柄市、箱根町、真鶴町、鎌倉市……と、そのエリアの森林や緑地の整備が行われていく。

この川崎市麻生区においても、来年だが、2カ所で行われる。1カ所は1月17日（土）9時より、万福寺とやま公園での「除伐」作業。難易度は★1つ。募集人員は100人。後援：川崎市、共催：（公財）川崎市公園緑地

協会。もう1カ所は2月14日（土）9時より、黒川はるひ野の特別緑地での「除伐」作業。難易度は★1つ。募集人員は100人。後援・共催は、上記万福寺のと同じ。

参加費は無料。健康で軽い山歩きのできる方。申し込み方法は、電話・Eメール・HPの申し込みフォームにて。



季節にかかわらず長袖シャツ・長ズボンで。ヘルメット、作業道具は財団で用意される（写真：財団HPより）

申し込み・問い合わせ＝（公財）かながわトラストみどり財団

Tel 045-412-2255（直通）／Mail midori@ktm.or.jp／HP <https://www.ktm.or.jp>



"やすらぎの森"見守り隊

南百合丘小学校は弘法の松公園の丘の南東を切り開き57年前に創立した。盛り土の校庭の南と東は大きな土手でユリノキ、スダジイ、アカマツ、ヒマラヤスギなどが植樹され大木に育っている。創立40周年記念時に児童により"やすらぎの森"と名付けられ「自然観察の場」として活用が始まり、実行委員会による観察道の整備、新しい樹木の植樹、保護者参加の定期手入れが行われてきた。

活動の中心は王禅寺公園で互いの犬の散歩で出会った串田さんと高柳さんだ。ナチュラリストの高柳さんにより"やすらぎの森"には植樹、実生など100種類を超す樹木がみつかった。さらにゾウムシやテントウム

シなど昆虫も多く観察された。

記者の庭先にはこの時期、甘夏ミカンの花が咲きハチを呼び寄せようと甘い香りを漂わせている。ところが最近、ハチを見かけない。高柳さんにきくと、昆虫が減っているからだという。昨今の温暖化で昆虫がさなぎ時に暑さから逃げられず絶命する。昆虫を食べるシジウカラやスズメを見かけなくなったのもそのせいらしい。

両氏はいま、「自然観察の場」の"やすらぎの森"をさらに発展すべく地域の方々と交え月1回ほどのペースで整備や観察を行う「見守り隊」の結成を計画している。"やすらぎの森"を高柳さんと歩くと次々といろい

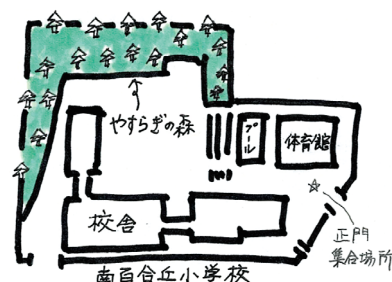
ろな話が飛び出す。見守り隊に参加し、自然に触れ合い、子ども達のために観察しやすいよう整備もする。参加されてみてはいかがであろうか？

活動日時：

①6月14日（土）

②7月19日（土）※いずれも雨天翌日
10時から11時

申し込み・
お問い合わせはこちら



令和7年度「地域コミュニティ活動支援事業」

5団体が採択されました！

4月11日の審査会を経て、令和7年度として5団体が採択されました。新しいコミュニティができることを期待しています。イベントなどの開催にあたってはやまゆりホームページ掲載や、チラシなどが区内に配架されます。多くの方の参加をお待ちしております。

本事業は地域のなかで人が集い、麻生区で活動するボランティアや市民活動団体が地域の新たなコミュニティづくりにつながる「事業」を行えるように事業資金の一部を支援するものです。



あさお元気アップ・コミュニティネット

地域のリソースをつなぐコミュニティサロンの運営

誰でも自由に立ち寄れるオープンなサロンを開き、地域の健康、介護、防災などのミニ講座等の情報発信や健康長寿の啓蒙活動も行う。また、地域で活動する個人や団体等とも連携し地域のコミュニティを繋ぐ。

かたひらほっとカフェ

地域コミュニティを強化するための講座・交流会（地域団体・個人との連携）

地域住民同士や世代を超えた交流するために<<同じ時間を過ごせる場所>>をく住んでいる地域>で提供する>>ことにより、お互いへの理解を深める。①パステル画教室 ②ボッチャ&ビジョントレーニング③みんなの発表会等を実施する。

かわさきミュージックチャレンジ

みんなでダンスinあさお / 誰でもチャレンジコンサートin あさお

障がいの有無を関係なく音楽やダンスなどを楽しむことによって、個々の存在価値を感じ、誰もが自己肯定感と他者への理解を深め、より住みやすい街・ノーマライゼーションのマインドを持つ街、お互いをリスペクトできる優しい街麻生区を発信する。

市民紙芝居・あさお

紙芝居de地域ふれあい広場II

紙芝居を通じて、楽しく地域のコミュニケーション作りを目指す。年齢・国籍などを問わず誰でも気軽に参加してもらえる「紙芝居の演じ手」「手作り紙芝居」の区民公募を行う。市民活動にも興味を持ち、地域交流していくひとつのきっかけにしたい。

川崎安来節同好会

児童への民踊踊り学習を通じた郷土愛の育成

放課後、児童預かり施設に於いて、日本民謡安来節の踊りの稽古を通じ、技量の習得や伝統文化への理解を深める。地域行事（麻生区民祭り、麻生市民館サークル祭、神社の秋祭り等々）にも積極的に参加し、地域社会とのつながりを深める。

麻生市民交流館 やまゆり



ホームページ更新中 ▶▶▶



開館日

平日 9:30~17:00

休館日

平日の夜間 及び土・日曜・祝日は、
予約により会議室・サロンが利用可能

アクセス

年末年始、施設点検日

住所

小田急線「新百合ヶ丘」駅南口から徒歩4分

TEL

〒215-0021
川崎市麻生区上麻生1-11-5

044-951-6321

